



平成29年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月3日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL http://www.keupie.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第1四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	132,079	△0.0	5,577	28.2	5,680	24.0	2,694	12.7
28年11月期第1四半期	132,140	2.3	4,350	△18.9	4,581	△16.3	2,391	△52.7

(注) 包括利益 29年11月期第1四半期 7,395百万円 (357.9%) 28年11月期第1四半期 1,615百万円 (△80.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	18.00	-
28年11月期第1四半期	15.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第1四半期	398,054	250,029	54.2
28年11月期	385,914	245,861	55.1

(参考) 自己資本 29年11月期第1四半期 215,905百万円 28年11月期 212,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	-	15.00	-	19.50	34.50
29年11月期	-	-	-	-	-
29年11月期(予想)	-	18.00	-	18.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	279,000	2.0	15,600	10.2	16,100	8.9	8,600	5.1	57.30
通期	565,000	2.3	33,000	10.7	34,100	8.7	18,000	5.3	119.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期1Q	153,000,000株	28年11月期	153,000,000株
② 期末自己株式数	29年11月期1Q	3,334,390株	28年11月期	3,333,991株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期1Q	149,665,818株	28年11月期1Q	151,767,371株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	13
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	15
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社）	15
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	16
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	17
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	17
(7) キャッシュ・フローの主な増減内容	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループの新たな挑戦で飛躍的成長を実現させるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、コスト競争力の強化、付加価値の創造、新領域への挑戦）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めています。

・売上高

サラダ・惣菜事業は好調に推移しましたが、米国の鶏卵相場下落やアヲハタ 十勝コーンの休売などの影響により、1,320億79百万円と前年同期に比べ61百万円（△0.0%）の減収となりました。

・利益

付加価値品の伸張やコスト改善に加え、前年第1四半期に発生した減価償却方法の変更に伴う残存簿価の一括償却の影響などにより、営業利益は55億77百万円と前年同期に比べ12億27百万円（28.2%）、経常利益は56億80百万円と前年同期に比べ10億99百万円（24.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億94百万円と前年同期に比べ3億3百万円（12.7%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	33,991	34,297	306	0.9%
タマゴ	25,731	24,020	△1,711	△6.6%
サラダ・惣菜	25,973	27,525	1,552	6.0%
加工食品	12,049	10,980	△1,069	△8.9%
ファインケミカル	2,679	2,311	△368	△13.7%
物流システム	30,419	30,972	553	1.8%
共通	1,295	1,971	676	52.2%
合計	132,140	132,079	△61	△0.0%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	1,622	2,588	966	59.6%
タマゴ	1,460	1,026	△434	△29.7%
サラダ・惣菜	339	562	223	65.8%
加工食品	△224	△54	170	—
ファインケミカル	234	△13	△247	—
物流システム	889	1,280	391	44.0%
共通	29	187	158	544.8%
合計	4,350	5,577	1,227	28.2%

(注) 有形固定資産の減価償却方法および耐用年数ならびに残存簿価の変更により、前年第1四半期に残存簿価の一括償却（△28億円）が発生いたしました。その影響により営業利益は28億円増加しております。

調味料

- ・国内のサラダ調味料は伸び悩んだが、海外が好調に推移し増収
- ・ドレッシングなどの付加価値品の伸張や減価償却費の減少により増益

タマゴ

- ・米国での鶏卵相場下落などの影響により減収減益となったが、付加価値品は好調に推移

サラダ・惣菜

- ・カット野菜や惣菜の伸張、宅配や外食などの新販路への展開により増収
- ・売上の拡大に伴う利益増、カット野菜などの付加価値品の伸張により増益

加工食品

- ・アヲハタ 十勝コーンの休売により減収
- ・コーンの休売は減益要因となったが、まるごと果実などの付加価値品の伸張やコスト改善により増益

ファインケミカル

- ・医薬用E P Aの減少が影響し減収となったが、通信販売向け商品は好調に推移
- ・売上の減少や広告宣伝費の増加により減益

物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や新規顧客の獲得などが進み増収
- ・新拠点稼働などコスト増加の影響を受けたが、増収効果や保管・運送の合理化、減価償却費の減少により増益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収増益

(2) 財政状態に関する説明

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,980億54百万円と前連結会計年度末に比べ121億40百万円増加
主に「現金及び預金」、「有価証券」、「機械装置及び運搬具」、「投資有価証券」の増加、
「受取手形及び売掛金」の減少による
- ・負債は、1,480億24百万円と前連結会計年度末に比べ79億71百万円増加
主に「長期借入金」の増加、「未払法人税等」、「その他」に含まれる未払費用、設備未払金の減少による
- ・純資産は、2,500億29百万円と前連結会計年度末に比べ41億68百万円増加
主に「その他有価証券評価差額金」、「為替換算調整勘定」の増加による

◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、518億15百万円と前連結会計年度末に比べ110億24百万円増加
- 各キャッシュ・フローの状況
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、
売上債権、仕入債務、その他に含まれる未払費用の減少、法人税等の支払いなどにより6億99百万円の収入
(前年同期は50億5百万円の収入)
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより114億25百万円の支出
(前年同期は91億円の支出)
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加、配当金の支払いなどにより208億41百万円の収入
(前年同期は2億24百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、個人消費の変化や主原料価格の変動など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画の2年目にあたり、グループの力を最大限に発揮して飛躍的な成長をめざすとともに、人材育成や環境保全・社会貢献など、経営基盤の強化に向けた取り組みにも注力していきます。

そのような中、日本国内においては、食の変化やお客様のニーズをいち早くとらえた商品開発やメニュー提案により、グループ協働で売上を拡大させていきます。また、生産・販売・物流での効率化や生産技術の革新によるコスト競争力の向上も図り、利益創出力を高めていきます。

海外につきましては、人口の増加や食の洋風化が進む中国や東南アジアを中心に、エリアのニーズを的確にとらえた提案で主力商品を伸張させるとともに、日本国内で築いた技術を活かした新たなカテゴリーを展開することで、売上拡大を進めていきます。

なお、本年1月11日に公表しました平成29年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,794	41,818
受取手形及び売掛金	75,134	68,931
有価証券	5,000	10,000
商品及び製品	15,669	15,607
仕掛品	972	905
原材料及び貯蔵品	9,229	10,629
その他	8,533	9,216
貸倒引当金	△173	△172
流動資産合計	150,160	156,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	179,789	180,834
減価償却累計額	△99,764	△101,207
建物及び構築物（純額）	80,024	79,626
機械装置及び運搬具	161,169	162,699
減価償却累計額	△122,204	△120,702
機械装置及び運搬具（純額）	38,965	41,997
土地	48,099	48,150
建設仮勘定	7,238	6,964
その他	22,922	23,926
減価償却累計額	△13,871	△14,633
その他（純額）	9,050	9,292
有形固定資産合計	183,378	186,031
無形固定資産		
のれん	1,563	1,507
その他	4,112	4,077
無形固定資産合計	5,675	5,584
投資その他の資産		
投資有価証券	27,408	29,659
退職給付に係る資産	7,413	7,849
その他	12,092	12,205
貸倒引当金	△213	△215
投資その他の資産合計	46,700	49,499
固定資産合計	235,754	241,116
資産合計	385,914	398,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,050	46,446
短期借入金	8,301	8,327
未払法人税等	7,016	1,805
引当金	2,828	5,161
その他	37,048	23,123
流動負債合計	102,245	84,863
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,498	37,054
退職給付に係る負債	3,893	3,989
資産除去債務	1,112	1,114
その他	10,303	11,002
固定負債合計	37,807	63,161
負債合計	140,053	148,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	30,300	30,300
利益剰余金	166,765	166,541
自己株式	△6,123	△6,124
株主資本合計	215,047	214,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,916	9,886
繰延ヘッジ損益	79	0
為替換算調整勘定	△3,947	△1,489
退職給付に係る調整累計額	△7,474	△7,314
その他の包括利益累計額合計	△2,426	1,082
非支配株主持分	33,240	34,124
純資産合計	245,861	250,029
負債純資産合計	385,914	398,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	132,140	132,079
売上原価	104,771	102,722
売上総利益	27,368	29,357
販売費及び一般管理費	23,018	23,779
営業利益	4,350	5,577
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	158	195
持分法による投資利益	91	33
その他	191	167
営業外収益合計	456	411
営業外費用		
支払利息	78	79
開業費	8	100
デリバティブ評価損	65	—
その他	73	128
営業外費用合計	226	308
経常利益	4,581	5,680
特別利益		
固定資産売却益	31	12
投資有価証券売却益	131	26
特別利益合計	162	39
特別損失		
固定資産除却損	267	428
減損損失	—	222
その他	73	38
特別損失合計	341	690
税金等調整前四半期純利益	4,401	5,030
法人税等	1,552	1,669
四半期純利益	2,849	3,360
非支配株主に帰属する四半期純利益	457	666
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,391	2,694

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年12月1日 至平成28年2月29日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年12月1日 至平成29年2月28日）
四半期純利益	2,849	3,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,224	979
繰延ヘッジ損益	△11	△88
為替換算調整勘定	△154	2,950
退職給付に係る調整額	156	194
その他の包括利益合計	△1,233	4,034
四半期包括利益	1,615	7,395
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192	6,204
非支配株主に係る四半期包括利益	422	1,191

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,401	5,030
減価償却費	6,462	3,915
減損損失	—	222
持分法による投資損益（△は益）	△91	△33
引当金の増減額（△は減少）	2,237	2,291
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△11	△1
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△447	△436
受取利息及び受取配当金	△173	△211
支払利息	78	79
固定資産除売却損益（△は益）	244	416
売上債権の増減額（△は増加）	7,079	6,782
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,063	△821
仕入債務の増減額（△は減少）	△205	△2,498
その他	△9,278	△6,856
小計	9,233	7,879
利息及び配当金の受取額	179	219
利息の支払額	△97	△96
法人税等の支払額	△4,309	△7,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,005	699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,048	△10,019
無形固定資産の取得による支出	△91	△124
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△82
投資有価証券の取得による支出	△81	△866
短期貸付金の純増減額（△は増加）	46	△173
長期貸付けによる支出	△7	△222
長期貸付金の回収による収入	3	3
定期預金の預入による支出	△3	—
その他	82	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,100	△11,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,074	16
長期借入れによる収入	1,100	25,100
長期借入金の返済による支出	△365	△558
配当金の支払額	△2,504	△2,918
非支配株主への配当金の支払額	△295	△387
自己株式の取得による支出	△1	△1
その他	△232	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224	20,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	908
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,456	11,024
現金及び現金同等物の期首残高	34,841	40,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,384	51,815

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年12月1日至平成28年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高										
外部顧客への売上高	33,991	25,731	25,973	12,049	2,679	30,419	1,295	132,140	—	132,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,054	1,775	66	550	74	5,988	2,501	13,011	△13,011	—
計	36,046	27,506	26,039	12,599	2,753	36,408	3,796	145,151	△13,011	132,140
セグメント利益又は損失（△）	1,622	1,460	339	△224	234	889	29	4,350	—	4,350

（注）セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年12月1日至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高										
外部顧客への売上高	34,297	24,020	27,525	10,980	2,311	30,972	1,971	132,079	—	132,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,770	1,511	73	555	99	5,847	2,812	12,670	△12,670	—
計	36,068	25,532	27,598	11,535	2,410	36,820	4,783	144,749	△12,670	132,079
セグメント利益又は損失（△）	2,588	1,026	562	△54	△13	1,280	187	5,577	—	5,577

（注）セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第1四半期連結累計期間において、「タマゴ」で減損損失を222百万円計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、ポーランドの調味料製造会社であるMosso Kwaśniewscy Sp. J. からマヨネーズなどの調味料を中心とした製造・販売事業を譲り受けることを決定し、当社の100%子会社「Mosso Kewpie Poland Sp. z o.o.」とMosso Kwaśniewscy Sp. J. が平成28年9月29日に事業譲渡契約の締結を行い平成29年1月12日に事業を譲り受けました。

(1) 企業結合の概要

(イ) 結合当事企業の名称およびその事業の内容

① 事業譲受企業

名称：Mosso Kewpie Poland Sp. z o.o.（当社の連結子会社）

事業の内容：マヨネーズなどの調味料を中心とした製造・販売事業

② 事業譲渡企業

名称：Mosso Kwaśniewscy Sp. J.

事業の内容：マヨネーズなどの調味料を中心とした製造・販売事業

(ロ) 企業結合を行った主な理由

東欧におけるブランド、生産拠点および販売チャネルを獲得することで、欧州展開のスピードアップを図ることにあります。

(ハ) 企業結合日

平成29年1月12日

(ニ) 企業結合の法的形式

事業譲受

(ホ) 結合後企業の名称

Mosso Kewpie Poland Sp. z o.o.

(ヘ) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるMosso Kewpie Poland Sp. z o.o. が、現金を対価としてマヨネーズなどの調味料を中心とした製造・販売事業を譲り受けたためであります。

(2) 取得した事業の取得原価

163,000千ズロチ

(3) 主要な取得関連費用の内容および金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 94百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現在算定中であります。

(5) 企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

現在算定中であります。

4. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。

2. 平成28年11月期より次の点を変更しております。

◇販売促進費および物流費の一部を売上高から控除

平成27年11月期の数値につきましては、平成28年11月期における新会計方法による補正後の数値で表示しております。

◇国内連結対象会社の減価償却の計算方法を定率法から定額法に変更

平成27年11月期の数値につきましては、減価償却の計算方法変更による遡及処理を行っておりません。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
27年11月期 (補正後)	調味料	332	368	700	373	1,073	349	1,422
	タマゴ	246	262	507	259	766	280	1,046
	サラダ・惣菜	232	252	484	265	749	256	1,004
	加工食品	131	155	286	145	431	144	575
	ファインケミカル	24	31	55	28	83	30	113
	物流システム	312	319	631	327	958	320	1,277
	共通	15	14	29	14	43	17	59
	合計	1,292	1,400	2,692	1,411	4,103	1,395	5,498
28年11月期 (A)	調味料	340	378	718	378	1,096	345	1,441
	タマゴ	257	261	519	248	767	255	1,022
	サラダ・惣菜	260	281	541	288	829	289	1,118
	加工食品	120	136	257	125	381	131	513
	ファインケミカル	27	26	53	28	81	28	109
	物流システム	304	318	623	324	947	322	1,269
	共通	13	12	25	14	38	13	52
	合計	1,321	1,413	2,734	1,405	4,139	1,384	5,523
29年11月期 (B)	調味料	343						1,540
	タマゴ	240						1,030
	サラダ・惣菜	275						1,148
	加工食品	110						469
	ファインケミカル	23						123
	物流システム	310						1,270
	共通	20						70
	合計	1,321						5,650
前年差 (B-A)	調味料	3						99
	タマゴ	△ 17						8
	サラダ・惣菜	16						30
	加工食品	△ 11						△ 44
	ファインケミカル	△ 4						14
	物流システム	6						1
	共通	7						18
	合計	△ 1						127

※平成29年11月期通期は、平成29年1月11日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
27年11月期 (補正後)	調味料	25	38	63	38	101	24	125
	タマゴ	15	13	27	13	40	14	54
	サラダ・惣菜	3	8	11	10	20	7	28
	加工食品	△ 2	3	1	0	1	△ 4	△ 3
	ファインケミカル	0	1	1	1	2	2	4
	物流システム	10	12	22	14	36	11	48
	共通	3	3	6	2	9	0	9
	合 計	54	78	131	78	209	54	264
28年11月期 (A)	調味料	16	46	62	47	109	28	137
	タマゴ	15	17	32	14	46	9	55
	サラダ・惣菜	3	11	15	11	26	9	35
	加工食品	△ 2	5	3	3	6	△ 1	5
	ファインケミカル	2	4	6	3	9	1	10
	物流システム	9	12	21	14	35	14	49
	共通	0	2	3	2	4	3	8
	合 計	44	98	142	93	234	64	298
29年11月期 (B)	調味料	26						152
	タマゴ	10						56
	サラダ・惣菜	6						41
	加工食品	△ 1						3
	ファインケミカル	△ 0						12
	物流システム	13						58
	共通	2						8
	合 計	56						330
前年差 (B-A)	調味料	10						15
	タマゴ	△ 4						1
	サラダ・惣菜	2						6
	加工食品	2						△ 2
	ファインケミカル	△ 2						2
	物流システム	4						9
	共通	2						0
	合 計	12						32

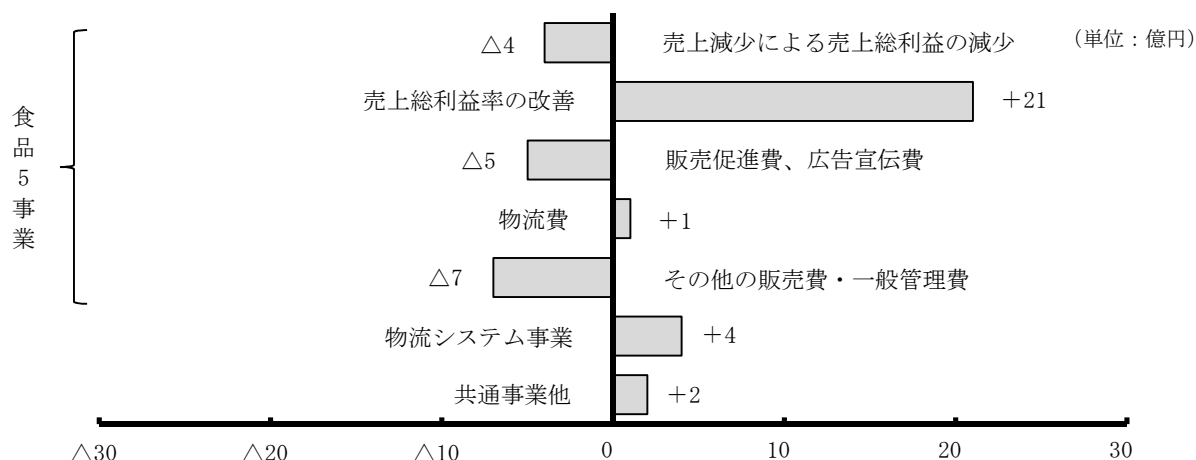
※平成29年11月期通期は、平成29年1月11日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益(前年差)の増減要因】

(単位：億円)

	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
営業利益	44	56	12



※平成28年11月期の償却方法変更により、前年第1四半期に残存簿価の一括償却(△28億円)が発生いたしました。その影響により営業利益は28億円増加しており、上記グラフに含まれております。

(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	27年11月期 第1四半期	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
設備投資額	94	94	102	8
減価償却費	42	65	39	△25
販売促進費 ※	9	9	10	1
広告宣伝費	20	23	27	4
物流費 ※	60	61	60	△1
労務費	69	73	77	4
研究開発費	9	8	8	0

※平成27年11月期の販売促進費および物流費は、売上高控除により補正した数値を表示しております。

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額 (キューピー株式会社)

		27年11月期 第1四半期	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
家庭用	販売量(千t)	30	30	30	△0
	金額(億円) ※	151	152	153	1
業務用	販売量(千t)	25	25	25	△0
	金額(億円) ※	96	96	95	△1

※平成27年11月期の金額は、販売促進費および物流費の売上高控除により補正した数値を表示しております。

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

【売上高】

(単位：億円)

	27年11月期 第1四半期	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
海外 売上高	82	95	88	△ 7
中国	30	36	37	1
東南アジア	20	20	20	0
北米 調味料	12	13	14	2
タマゴ	15	19	9	△ 10
日本からの輸出等	5	7	7	△ 0

※海外子会社の数値は、10月から12月を対象としております。

※平成27年11月期の売上高は、売上高控除により補正した数値を表示しております。

※「海外 売上高」の前年差には、為替影響△11億円が含まれております。

【営業利益】

(単位：億円)

	27年11月期 第1四半期	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	前年差(B-A)
海外 営業利益	7	9	3	△ 6
中国	2	3	3	△ 0
東南アジア	0	1	1	0
北米 調味料	1	1	1	△ 0
タマゴ	3	4	△ 3	△ 6
日本からの輸出等	1	1	1	0

※海外子会社の数値は、10月から12月を対象としております。

※「海外 営業利益」の前年差には、為替影響△0億円が含まれております。

(5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	増減 (B-A)	増減内容(28年11月期 第1四半期対比)
営業外損益	2	1	△ 1	開業費の増加 △ 1
特別損益	△ 2	△ 7	△ 5	減損損失の増加 △ 2 固定資産除却損の増加 △ 2 投資有価証券売却益の減少 △ 1

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 (A)	29年11月期 第1四半期(B)	増減 (B-A)	増減内容(28年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,502	1,569	68	現預金の増加 + 60 売掛債権の減少 △ 62 有価証券の増加 + 50
固定資産				
有形・無形固定資産	1,891	1,916	26	取得による増加 + 55 減価償却による減少 △ 39
投資その他の資産	467	495	28	投資有価証券の増加 + 23
(負債の部)				
	1,401	1,480	80	未払法人税等の減少 △ 52 設備未払金の減少 △ 49 未払費用の減少 △ 64 借入金の増加 + 246
(純資産の部)				
	2,459	2,500	42	その他有価証券評価差額金の増加 + 10 為替換算調整勘定の増加 + 25

(7) キャッシュ・フローの主な増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 第1四半期(A)	29年11月期 第1四半期(B)	増減 (B-A)	増減内容(28年11月期 第1四半期対比)
営業活動による キャッシュ・フロー	50	7	△ 43	税金等調整前四半期純利益の増加 + 6 減価償却費の減少 △ 25 法人税等の支払額の増加 △ 30
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 91	△ 114	△ 23	有形固定資産の取得による 支出の増加 △ 10 投資有価証券の取得による 支出の増加 △ 8
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2	208	211	借入金の増加 + 217 配当金の支払額の増加 △ 4